

# 飯南

いinan

- 02 9月議会報告／広報研修会報告
- 03 可決した主な議案／陳情  
決算審査特別委員会  
令和4年度各会計補正予算
- 04 一般質問
- 11 討論  
採決の結果
- 12 常任委員会報告  
全員協議会の議題／議会活動報告
- 14 明日を拓く

第71号  
令和4年10月20日



# 9月定例会を終えて

9月6日から16日までの11日間で開催

世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響による物流の停滞と、ロシアによるウクライナ侵攻の影響を受け、燃油を皮切りに諸物価が急激に高騰しており、町内事業者だけでなく、家計にも影響が及ぶものと思われる。今後の局面に注意を払い、状況に応じた対策が求められる。

◆急激な物価高騰への支援策として3600万円分のプレミアム商品券を発行する。(プレミアム部分1200万円を町が支出) また、特に影響の大きな畜産経営者に飼料高騰支援として3310万円、タクシー事業者と運送業者に燃料高騰支援として総額140万円を補助する。

◆道の駅頓原周辺エリアの整備計画を本年度中にまとめるために311万円を追加計上する。公園整備や周辺施設にも影響があるので、意見の取りまとめ状況を注視したい。

◆来島地区子ども広場の設計変更により143万円を追加計上する。変更のあり方には賛否両論あり、活発な討論がなされた。

◆町債残高109億円余のうち、2億4000万円余を一般財源から捻出して繰り上げ償還する。

その他、今後推進する企業版ふるさと納税の受皿として、新たに「飯南町まち・ひと・しごと創生推進基金」を設置する。

## 可決した主な議案

### 条例関係

飯南町まち・ひと・しごと創生推進基金条例の制定など2件

### 予算

令和4年度飯南町一般会計補正予算(第4号)など8件

### 諸議案

財産(土地及びハウス等農業設備)の取得など2件

### 報告

令和3年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告

## 陳情

### 生産資材価格高騰対策に関する緊急要請

- 〔陳情者〕 赤来農政会議 会長 松田 栄次
- 頓原農政会議 会長 長島 正一
- 赤来担い手協議会 会長 松田 栄次
- 頓原集落営農組織連絡協議会 会長 神田 博延

### 〔付託委員会〕 教育経済常任委員会

〔審査の結果〕 採択

### 和牛子牛市場の価格下落に対する緊急支援を求める陳情

### 〔陳情者〕 飯南町和牛改良組合

組合長 岸野 昌士 ほか5名

### 〔付託委員会〕 教育経済常任委員会

〔審査の結果〕 採択



中央図書館で

## 島根県市町村議会広報研修会

令和4年8月25日(木)

全国広報コンクールで内閣総理大臣賞を受賞したことがある佐久間智之氏から、議会が伝えたいことでなく、住民が知りたい情報をわかりやすく伝えることや、手にとってみたくなる表紙の大切さなどを学びました。今回の表紙はそれを意識して撮影しました。



## 町村議会広報研修会(全国研修)

令和4年9月21日(水)

住民に伝わる広報紙のポイントは、①住民参加(住民の共感獲得)、②写真と文字のバランス(見やすさ)、③タイトルや見出し(わかりやすさ)であるという話がありました。

「議会報に書かれている言葉が難しくて内容がわからない」「そもそも読もうと思わない」などの感想をいただきました。ともありますので、研修を生かして改善していきたいと思っています。

また、他自治体の議会広報の編集方針や基本方針の例が示されました。これらを参考にし、議会報飯南の方針を話し合い、議会活動への理解と関心を深めていただけるような広報誌にしていきたいと思えます。

報告者 戸谷 ひとみ

## 決算審査特別委員会を設置

令和3年度飯南町一般会計、各特別会計の歳入歳出決算及び各公営企業会計の決算を審査するため、決算審査特別委員会を設置した。12月定例会で審査結果を報告する。

- 委員長 景山 登美男
- 副委員長 安部 誠也
- 委員 伊藤 好晴
- 委員 高橋 英次
- 委員 平石 玲児
- 委員 戸谷 ひとみ

## 〔令和4年度 各会計補正予算〕

長期債繰上償還元金2億4494万円の増額、災害復旧事業(7月大雨災害)4457万円の増額、畜産経営緊急支援事業(畜産飼料高騰に伴う支援)3310万円の増額、商業活性化重点支援事業(プレミアム商品券発行、旅客タクシー・運送業支援)1590万円の増額など

## 一般会計 4億489万円 増額

会計名	補正予算額	予算総額
一般会計	4億489万円	88億4215万円
特別会計		
国民健康保険事業	-289万円	6億5261万円
介護保険サービス事業	100万円	3418万円
簡易水道事業会計	1783万円	3億8899万円
下水道事業会計	3265万円	5億3726万円

# 一般 質問

令和4年 9月定例会

## 大災害被災時への 万全な備えを

高橋 英次 議員



**Q 仮設住宅建設予定地は** 大災害被災時における仮設住宅建設予定地の選定など、「飯南町地域防災計画」における該当項目について問う。

仮設住宅建設関連項目の内容を要約すると、自らの資力で住宅を確保できない被災者には、応急修理や住宅の提供等の措置を講じる。

建設予定場所は、町または県の公有地で、飲料水が得やすく保健衛生上適切な場所とし、交通手段にも配慮すると定めてある。

本町での被災者対策として、仮設住宅建設候補地は明確に確保してあるか。また、建設戸数は何戸と定めてあるか問う。

① 具体的な場所と数字を、地域防災計画に記載しておくべきでは。

② 大きく広い場所に防災公園を提案する。平時はくつろげる広場、一旦緩急あれ



美郷町の防災公園

ば避難場所とし、必要となれば仮設住宅の建設用地として活用すれば、町長の公約にもつながるのでは。

③ 2030年の国民スポーツ大会として、本町もソフトボール競技会場となつていくが、本格的なソフトボール施設として山村広場を修復、修繕、改修し併用することを提案する。



奥出雲スポーツ公園

**A 既存の公共用地を想定** 明確に記載していないが、公共用地である赤名山村広場、頓原町民野球場、旧小田小学校校庭を想定している。

建設戸数も定めていないが、家族用であれば1戸40㎡が必要となり、先の3ヶ所で300戸程度が建設可能だ。

① 昨年度、大規模改定を行ったが、本年度も国、県の修正がある。その修正に合わせて建設候補地を記載する。

② 造成となれば、多額の造成費用や維持管理の問題がある。他自治体でも仮設住宅建設用地については野球場やグラウンド、旧学校の校庭跡地などであると認識している。今後の公園整備の参考にする。

③ 会場は具体的には決まっていないうが、山村広場も既存の施設としては候補地だ。別途造成は難しく、既存の施設の改修となる。

防災公園のことも念頭に整備を行う。

町長塚原隆昭

## 先進技術導入で 町の課題解決を

平石 玲児 議員



### Q スマート農業推進 支援を

少子高齢化は今後さらに進行し、本町のすべての業種において深刻な問題になる。農業においても、個人、法人を問わず後継者問題が深刻化することが予測できる。

その対策として、国、県、本町においてもスマート農業の推進が図られている。これらのシステムや機械には様々な機能が付加されているため価格が高く、補助残部分の負担が大きい。支援する考えはないか。



除草剤散布するドローン

### A 補助事業の上乗せ 支援を検討

町長塚原隆昭

スマート農業技術を活用した農機具等を、導入する農家や農業法人が増えているが、まだ発展途上の段階でもある。

まずは、本町でスマート農業の導入を希望する声などの程度あるのか。また、その技術が農業経営の改善に有効かなどをしつかり見極め、真に需要と効果のある技術に絞り込み支援する方向で検討する。

国は2分の1、県単事業では3分の1の補助事業が用意されており、そこへの上乗せ支援で検討を進めたい。

**Q 5Gの整備を** 携帯電話は、第5世代移動通信システム(5G)の時代になる。5Gの普及により、あらゆる分野で問題になっている人手不足を解消するため使われると思う。

人口減少、過疎化が進む地方に5Gを整備することで、過疎化の進行が抑えられると思う。国に対し財政支援等の要請が必要と考えるが、町長の考えはどうか。



ラジコン草刈り機

### A 国の構想に沿って 検討

町長塚原隆昭

5Gの整備は、個々の自治体の努力では難しい現実がある。県を通じ総務省や関係部署に働きかけていく。

本町としては、国が掲げる「デジタル田園都市国家構想」に沿って、三点を検討したい。

一、農業や介護福祉等、様々な分野でのICT化

二、行政手続きのオンライン化

三、AI・RPA等行政事務の効率化

5G「高速大容量」「高信頼・低遅延」「多数同時接続」を提供する移動通信システム

AI…人工知能。コンピュータがデータを分析し、推論や判断、課題定義や解決、学習を行う。人間の知的能力を模倣する技術を意味する。

RPA…ロボットが作業することにより業務の効率化を実現し、最適な人の割り当てを支援。



# 高齢者が安心安全に暮らすために

景山 登美男 議員

## 一般 質問

令和4年 9月定例会

# 給食費無償化の実施を

伊藤 好晴 議員



### Q 学校給食無償化を

全国で給食費を無償化している自治体はいくつあるか。また、県内の実施自治体はどうなっているか。給食費無償化や一部補助が増えている背景にはなにがあると考えているか。保護者の負担軽減もさることながら、憲法にもとづき、「義務教育は無償」の観点からも給食費無償化を行うべきではないか。



### A 町長部局と検討

教育長 大谷哲也

2022年の調査では全国85の自治体で実施され、取り組み自治体が増えている。

県内では吉賀町が実施している。美郷町・隠岐の島町では経済対策ということで実施されている。

国のスタンスは「給食無償化の検討は自治体で判断すべき」ということで、支援は望めない。

食育の観点・財源確保・制度設計・事業効果など、町長部局とともに検討が必要だ。

### A 引き続いて検討

町長 塚原隆昭

実施自治体の状況も研究しながら、引き続き検討する。

### Q 肺炎から

#### 高齢者を守れ

本町における肺炎球菌ワクチン接種の実態はどうなっているのか。啓発を強めることがまず求められる。

今までの周知方法が功を奏しないなら、もつと踏み込んだ対策が求められると思うがどうか。

国は、来年から65歳時のみを助成対象に制度を変えようとしている。これを思いとどまらせる必要がある。

また、2回目以降も助成が受けられるよう制度を改善するよう国に求める必要があると考える。それが実現するまでは、町単独事業で助成すべきと考えるがどうか。

免疫機能が低下している状態では、ワクチンを接種しても免疫が十分にできない可能性が指摘されている。日常的な感染予防と免疫力を高めることが重要と考え、改めて啓発を強めることを求める。

### A 協議しながら検討

町長 塚原隆昭

初回の接種率は令和2年度が55・56%、3年度が45・03%、直近の5年間は平均で47・03%。

肺炎球菌の認識が少し落ちていないか。啓発は、担当課とも協議しながら少し考えたい。

国への要望は、県とも相談しながら考える。

接種勧奨については、担当課とも協議しながら検討する。基本検診は毎年受けられるので、そのときに勧奨するという方法もあると思う。

### Q 介護人材確保を

本町の介護従事者不足は深刻化している。

副町長をトップとする「高齢者福祉グランドデザインプロジェクトチーム」で検討を進めるとのことだが、雲南広域連合で策定された「雲南地区の介護人材確保に向けての推進計画」も参考に、精力的に検討すべきだ。

現在の検討状況と町長の意気込みを問う。

### A 鋭意取り組む

町長 塚原隆昭

将来にわたり持続可能な高齢者福祉施策を実現するため、機能分担や必要なサービス規模を検討し、未来に希望が持てる福祉事業を官民一体となって作りたい。

スピードを上げて精力的に取り組む。

### Q 高齢運転者の

#### 事故防止を

高齢運転者のブレーキとアクセルの踏み間違い等による事故が増えている。

現在は、対策された車が販売されているが、高齢者には高額だ。最近では、後付けできる「急発進等抑制装置」が5万円前後で販売されている。

高齢運転者の事故を未然に防ぐため、後付け費用を補助する考えはないか。

### A 独自制度は

#### 考えていない

町長 塚原隆昭

本町では、幹線を走る生活路線バス、各地区のエリアをカバーするデマンドバスを運行している。免許を持たない方には、タクシー助成を実施している。

町独自の制度は考えていないが、国のサポカー補助金の再開を強く要望する。

### Q 気象防災アドバイ

#### ザーの活用を

気象防災アドバイザーは、気象庁が実施する研修を修了した気象業務経験者や気象予報士である。

市町村が委嘱し、平時は地方公共団体職員を対象とした勉強会や、住民を対象とした気象講演会などを実施し、大雨等の防災対応時には、気象状況の予測や避難についてアドバイスをを行う。

本町でも気象防災アドバイザーを採用されてはいいか。

### A 委嘱に向け準備を

#### 進める

町長 塚原隆昭

今後、的確な避難情報を発令するためにも、専門的な知識を有する方の助言は必要と考えており、委嘱に向けて準備を進めたい。

その他、「带状疱疹ワクチン接種費用助成」について質問がありました。



防災研修会の様子



## 拠点施設の整備を

安部 誠也 議員

(※)観的壕  
銃砲の射撃試験場で発射した弾丸の命中状況を観測する場所

三瓶山は、昭和38年に国立公園指定され、来年で60年を迎える。歴史や文化も多くあり、江戸時代の「三瓶山十二勝」の巻物に、角井地区の2か所が描かれている。また、東の原、西の原には、旧日本陸軍の演習地としての痕跡が各所に残っている。角井地区にも標的を監視する観的壕(※)などがあり、後世に語りつがれるよう映像化して残すべきと考える。

大田市や島根県にも協力を要請しPRしてはどうか。



東の原観的壕(角井)

## 一般 質問

令和4年 9月定例会

## 多様な居場所と 学習の機会を

戸谷 ひとみ 議員



### Q不登校児の居場所づくりを

町が運営する「めだかの学校」は中学生以上、社協が運営する「ぶらっと」は小学生でも利用できるが、毎日開所されていない。学校に行かない、行けない小学生はどこで過ごしたら良いのか。家庭の事情も様々なので、自宅以外の居場所も必要だがどうか。



「ぶらっと」はあたたかい家庭の雰囲気

### A検証し改善へ

町長塚原隆昭

場所を必要としている人がいるのは承知している。今の仕組みがニーズに合っているのか検証し、可能な限り改善したい。

### Q多様な学びの場の提供を

「めだかの学校」も「ぶらっと」も学習の機会は提供されておらず、学校に行かない子が学べる環境づくりが必要。学校に行かない選択をした子が全員、学習したくないわけではない。多様な「居場所」と「学習の機会」が保障されれば、子どもたちは自分に合う場所、そして自分のペースで学ぶことができるとも言われている。

例えば、不登校児を対象にしたオンライン家庭教師や不登校専門塾と「家庭」または「めだかの学校」や「ぶらっと」を組み合わせれば、学校に行っていないかどうかに関わらず、個人が尊重され、魅力のある教育を受けられると思うがどうか。



自由に過ごせる居場所「ぶらっと」

### A課題整理が必要

教育長大谷哲也

オンライン家庭教師なども、不登校児の学習を補うという効果、あるいは学校に通えない子どもが通うきっかけになるという機能はあるかもしれない。

また、学習支援館でオンライン対応を行うことは、受講生の質問への回答や小テスト等については技術的には可能だが、一番肝心な自主学習の個別指導が難しいだろうという課題も残っている。

講師と生徒の関係性を大切にして、きめ細かな個別指導に生かすという学習支援館の方針が信頼を得ている面があるので、これらの課題を整理する必要はあると考える。

### Q三瓶山に残る歴史遺産の保存を

### A保存を提案

町長塚原隆昭

歴史文化についても、観光誘客における新たな視点として加えていけば非常に面白いと感じた。後世に残していかなければならない。1市2町で構成される三瓶山広域ツーリズム振興協議会で、地域資源を観光誘客の新たな切り口として掘り起こし、PRの方法や記録の保存を提案したい。

### Q小さな拠点づくりは

### A地域コミュニティを維持し持続可能な地域づくりを目指すための取り組みとして「小さな拠点」づくりが注目されている。

地域コミュニティを維持し持続可能な地域づくりを目指すための取り組みとして「小さな拠点」づくりが注目されている。地域ごとのランドデザインを描き、その意見をまとめ、地域振興に反映させるのが行政の役割だと考えるが、町内の実態は、また、赤名地区には役場があるため、自治振興組織の拠点施設がないと嘆く住民がいる。拠点施設の整備をすべきと思うがどうか。

### A地域の意見を伺い考える

町長塚原隆昭

5つの拠点形成を目指した地域運営の仕組みづくりに取り組み、現時点では谷志々の2地区で形成されている。今年度は、来島地区では



来島地区計画づくりの様子

地区計画の作成に取り組み、拠点づくりが進んでいる。赤名・頓原地区では、町職員や集落支援員がサポートし、話し合いが進められている。引き続き支援を行う。

赤名地区の拠点施設が必要だという意見は、集落実態調査においても地域の現状や課題が共有されているが、具体的な話し合いが進んでいない。地域の意見を伺い今後の対応を考える。

# 一般質問

令和4年9月定例会

## 物価高騰 全町民への支援を

安部 丘 議員



### Q 急激な物価高騰への支援を

今年に入って燃油をはじめ諸物価が急激に高騰している。9月分の家庭向け電気料金は160キロワットを使用した場合9605円となり、前月より624円値上がりし、昨年9月からだと36%値上がりすることになる。

ガソリンは、来島給油所の店頭価格で177円(9月8日時点)と16円の値上がり。国は、石油元売り会社への補助額を段階的に引き下げる方向なので、先が心配なところだ。灯油も全国平均価格が、過去5年間で最高値となっている。

これから冬を迎えるが、暖房のため消費の増える灯油や電気といった光熱費の増加は、家計を一層圧迫することとなる。

物価が高騰する一方で、年金は手取りが減少。労働者の賃金も、高騰する物価には到底追いつくはずもなく、疲弊されている町民

も多々おられる。

松江市は、市内の全世帯を対象に2カ月分の水道料金を無料にする補正予算を、9月の松江市議会定例会に上程された。

この度の光熱費をはじめとした急激な物価高騰は、本町のような寒冷地には特に重くのしかかる。物価高騰分の支出増加を緩和する本町独自の支援について、町長の方針を問う。

### A 一律支援は難しい

町長塚原隆昭

物価高、とりわけ生活に密着した電気代、ガソリン代、冬の灯油代の値上がりは、本当家計に直結するものと、町としても認識をしている。

これまでコロナ対策支援として、国は国民に10万円の一律給付をし、その後、子育て世帯、ひとり親世帯、そして低所得者世帯に対し10万円から5万円の給付支援を行った。

町独自の支援としては、

全町民を対象に元気回復券を計3度発行してきた。これは家計の一助となり、商業者の支援にもつながる事業だ。

これからは、商業者への支援として、プレミアム商品券事業を実施したい。

国からは、住民税非課税世帯への5万円給付が行われるとの報道がある。本町の非課税世帯は、町の全世帯の1/3程度が対象になるとみている。

町は可能な限り速やかに給付事務を行う。全町民への一律の支援は難しい。



来島給油所のガソリン価格

## 討論

議案第59号 令和4年度飯南町一般会計補正予算(第4号)  
来島地区子ども広場の変更  
143万円

### 反対討論 戸谷ひとみ議員

①1歳から3歳を対象とする利用できる人が少ない。図書館側駐車場の全面を広場にしておくの人が利用できるような工夫が必要。全面を広場にすると護柵は不要になる。  
②住民の声の集め方に問題がある。意見交換会は良い取り組みだが、聞きとるだけで回答がないのは問題。住民の声を聞き利用者の視点にたつて再協議する必要がある。

### 賛成討論 安部 丘 議員

①防護フェンスを可動式から固定式に変更するのは、安全性を高めるため。  
②図書館側真砂土部分の舗装は、図書館内に真砂を持ち込む弊害を抑えるため。  
共に理にかなっており賛成する。

加えて、本議案には急激な物価高騰対策が盛り込まれており、本議案を支持する。

### 賛成討論 伊藤 好晴 議員

子ども公園について、町執行部が住民目線で考えているのか疑問。住民の声を傾け計画を改めるような施策を求める。  
他の予算は執行しなくてはならない。

### 賛成討論 高橋 英次 議員

公園の計画はこれひとつではない。それぞれの場所に適した公園が必要。  
本予算案には喫緊の対策が盛り込まれており賛成する。

### 賛成討論 熊谷兼樹 議員

女性なり母親なりの目線で意見が出て不思議ではない。私も予算を細かく見れば反対したい事業はある。だが全体を見た場合、一点をもって予算案に反対することはできない。

議案の採決結果は次のとおりです。

件名	結果	戸谷ひとみ	平石玲児	安部 丘	景山登美男	安部 誠也	高橋英次	内藤真一	熊谷兼樹	伊藤好晴
令和4年度飯南町一般会計補正予算(第3号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町まち・ひと・しごと創生推進基金条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町職員の育児休業等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度(3災農災)災害復旧工事(146三日市頭首工)請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産(土地及びハウス等農業設備)の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度飯南町一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●
令和4年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度飯南町介護保険サービス事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度飯南町病院事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度飯南町簡易水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度飯南町下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### 【陳情の採択結果】

生産資材価格高騰対策に関する緊急要請	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○
和牛子牛市場の価格下落に対する緊急支援を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○:賛成 ●:反対



# 教育経済 常任委員会

委員長：熊谷兼樹 副委員長：安部誠也  
委員：伊藤好晴 内藤真一 高橋英次

# 常任委員会報告

# 総務厚生 常任委員会

委員長：景山登美男 副委員長：平石玲児  
委員：早樋徹雄 安部 丘 戸谷ひとみ



## 財産(土地及びハウス等農業設備)の取得 審査意見

育苗期間以外はハウスを利用しない方針が示されたが、農業を基幹産業と位置付ける本町として、通年利用する方法を多角的に探るべきだ。



取得する育苗ハウス等(花栗)

## 令和4年度 飯南町一般会計補正予算(第4号)

### 【歳出】 プレミアム商品券事業 1450万円

50パーセントのプレミアム率を持つ商品券を発行し、新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰の影響を受けている事業者の支援を行うもの。

委員から「町民全員に購入する金銭的余力があるのか」という疑問があり、「給付型商品券を配布するほうが有効ではないか」との意見があった。

担当課からは「財源に限度があり、それを有効に使うため消費喚起の呼び水にしたい」との回答があったが、今後、町民の経済状態をしっかりと把握し、給付型事業の検討を求めた。

## 保健体育総務臨時管理費 35万円

志々トレーニングセンターのバスケットボール用ゴールの安全点検委託費用。

教育委員会から、管轄が社会教育部署であるために失念しており、本来であれば当初予算で措置すべきであったと謝罪があった。

この施設は義務教育下の児童が授業で利用していることを深く認識し、教育委員会内で情報共有に努め、再発防止を求めた。

## 畜産経営緊急支援事業 3310万円

畜産飼料価格の高騰による畜産農家の負担を県と連携して軽減するため、配合飼料支援と輸入粗飼料支援を行う経費。

県の支援事業を補完する形で事業化。支給額の算出、支給等は雲南一市二町で統一する。

委員から、「粗飼料を懸命に自給している畜産農家の努力を無視しており、間違ったメッセージになりかねない。また、畜産農家間に不公平感を抱かすことになる」との指摘があった。



来島牧場の牛舎

## 条例

### 飯南町まち・ひと・しごと創生推進基金条例を制定

企業版ふるさと納税の受け皿として、新たに基金を創設するための条例制定。

## 令和4年度 飯南町一般会計補正予算(第4号)

### 【歳出】 その他町有財産臨時管理費 156万円

旧赤名米倉庫跡地を舗装し、保育所職員及び商工会来客用駐車場等として使用する。

### 子ども・子育て支援対策事業 143万円

来島地区子ども広場において当初移動式であった防護フェンスを固定式に変更、及び舗装がしてない部分の舗装工事を追加。



来島地区子ども広場予定地

## 定住促進住宅整備事業 300万円

八神里山住宅建築工事にかかる資材価格の高騰及び補強のための梁・根太の追加、並びに2階窓からの落下防止柵追加。



八神里山住宅建築現場

## 国道54号活性化事業 311万円

道の駅頓原周辺エリア整備計画支援業務に必要な委託料であるが、周辺整備検討委員会による検討内容を取りまとめ、コンサルタントに整備計画書の作成を委託する。

## 新型コロナウイルスワクチン接種対策事業 445万円

ワクチンの接種対象拡大や期間延長に伴い接種従事者報奨金等を増額する。

## 長期債繰上償還元金 2億4494万円 利子483万円

地方債4件分を繰上償還する。

## 議会活動報告 [7月~9月]

7 5日 議会広報常任委員会(紙面校正作業)  
8日 議会広報常任委員会(紙面校正作業)

8 4日 全員協議会  
総務厚生常任委員会・教育経済常任委員会  
15日 飯南町二十歳のつどい  
25日 島根県町村議会広報研修会(松江市)  
26日 雲南広域連合議会定例会  
30日 議会運営委員会  
(9月定例会の議案説明、日程ほかの協議)

9 6日 9月定例会:本会議(町長提出議案の説明、質疑、委員会付託)  
9日 :本会議(一般質問)  
12~14日 :常任委員会審査  
15日 :常任委員会審査、予算特別委員会、全員協議会  
16日 9月定例会:本会議(委員長報告、討論、採決)  
21日 町村議会広報研修会(東京)  
26日 議会広報常任委員会(紙面校正作業)  
29日 議会広報常任委員会(紙面校正作業)

## 全員協議会の報告

令和4年8月4日(木)  
①新型コロナウイルス感染状況  
②4回目ワクチン接種  
③燃料・物価高騰対策  
④大雨による災害発生

令和4年9月15日(木)  
①総合振興計画等評価委員会の答申  
②知事要望  
③広島広域都市圏への参画検討  
④今後のコロナワクチン接種  
⑤頓原長谷線改良工事に伴う登校路路面検証  
⑥公の施設の指定管理者の公募

# 「本と人」をつなぎたい

飯南町立図書館

館長 飯島良子りょうこさん（野苺）

## 地域に出かける図書館

私たちは、赤ちゃんから高齢者まで、皆さんのお役に立てる図書館を目指し、来館を待つだけではなく、地域に積極的に出かけることを大切にしています。

本の貸し出しをはじめ、お探しの本の相談や調べ物のお手伝いなどもしています。県内の他の図書館から本を取り寄せることもできます。保育所や地域のサロンに出かけ、本の紹介や読み聞かせなどもしています。いい絵本は世代を超えて心に響きますし、昔なつかしい紙芝居を読むと笑顔で聞いてくださいます。



頓原公民館「とんぼらサロンだんだん」での出張読み聞かせ

飯南町にしかない文化や産業、歴史にかかわる資料を集めて保存し、提供しています。二度と刊行されることのない観光パンフレットなどは必ず収集しています。珍しい刊行物をお持ちの方はぜひ資料提供をお願いします。

## 友だちのような図書館に

当館の職員は経験豊かで、それぞれが得意分野やステキな感性を持っています。それを発揮しながら「情熱と誠意！」という合言葉とチームワークを大切にして業務に取り組んでいて、文化講演会や歴史講座、趣味の講座、写真展、演奏会など多くの企画事業を手が

けています。それぞれの事業には子どもから高齢者まで町全域から参加していただき、時には町民の方が講師を引き受けてくださることもあり、本当に感謝しています。

## みなさんに育ててもらう場所

図書館には、掲示物などの環境の整備や郷土資料の整理、講演会の受付などをしてくださるボランティアの皆さんがおられます。社協のデイサービスに本を運んでくださる方もあり、利用者はとても喜んでおられると聞きます。

お花や折り紙などを持参される方やお花を生けてくだ



町民の方が講師を務めた趣味の講座「絵手紙をかこう」

さる方など、「自分たちの図書館」という想いを持った地域の方々に育ててもらっているように思います。

私たちは「ほっこりできる場所だわ」「ここがあつてよかった」と思っていただけに、みなさんのお役に立てる図書館でありたいと考えています。そして、求められる本と一緒に探していく力をつけるために、職員が学び続けることも大切だと思っています。

ご高齢の方や障がいのある方などの要望をお聞きする取り組みもしています。来館が難しい場合は、近くの公民館まで届けますので、お気軽にご相談ください。



毎月第3日曜日に中央図書館で読み聞かせ

## 募集

「明日を拓く」で取り上げてほしい会社や個人、団体、行事やイベントなどの情報をお寄せください。取材に伺います。議会報の表紙に使う写真の募集もあわせて行います。自薦他薦は問いません。皆様からのご応募をお待ちしています。《応募先》飯南町議会事務局 0854-76-2190

## 今月の表紙写真



スタッフは日ごろから「よかったね」「すてき」「お疲れさま」など、やったことをプラス評価する雰囲気があり、お互いにあたたかい声かけをしているそうです。そんな図書館職員に惹かれてボランティアさんも集まって来られるようです。